

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 セゾン情報システムズ  
 コード番号 9640 URL <http://home.saison.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月31日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 宮野 隆  
 (氏名) 赤木 修

TEL 03-3988-3477

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	21,448	△5.1	1,559	△42.5	1,579	△42.3	963	△31.5
24年3月期第3四半期	22,589	18.6	2,711	52.3	2,736	51.5	1,407	43.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 962百万円 (△31.3%) 24年3月期第3四半期 1,400百万円 (44.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	59.50	—
24年3月期第3四半期	86.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	22,731	15,357	67.6
24年3月期	26,506	14,961	56.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 15,357百万円 24年3月期 14,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	25.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	△6.5	3,500	2.6	3,510	1.7	2,150	23.3	132.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	16,200,000 株	24年3月期	16,200,000 株
② 期末自己株式数	217 株	24年3月期	217 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	16,199,783 株	24年3月期3Q	16,199,811 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き復興需要が内需の下支えとなっているものの、継続的な円高、新興国の景気減速や欧州経済の低迷等により景気全体は停滞し、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社が属する情報サービス業界においては、クラウドサービス、セキュリティ対策、ビッグデータ対応等への関心が高まり、新たな需要が期待されるものの、金融業界、流通業界をはじめとした企業の情報化投資に対する慎重な姿勢は変わらず、受託開発を含めたソフトウェア開発全体は減少傾向にあることから、当社を取り巻く経営環境は非常に厳しいものとなりました。

このような経営環境において、当社グループは、情報処理サービス、システム開発、パッケージ販売の3分野をバランスよく展開している事業特性を活かし、各事業間のシナジーを高め、既存顧客との取引拡大、新規顧客獲得に努めております。また、「所有から利用」への潮流の中スタートしたクラウド型ホスティングサービス「SAISOS(サイソス)」の拡大に注力し、従来の企業向けサービスに加え、企業と消費者を結ぶ「BtoC」ビジネスへのサービス展開を図っております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、システム開発案件の減少等により売上高は21,448百万円(前年同期比5.1%減)となり、営業利益は1,559百万円(同42.5%減)、経常利益は1,579百万円(同42.3%減)、四半期純利益は963百万円(同31.5%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント間取引については相殺消去しておりません。

#### ①金融システム事業

売上面においては、クラウド型ホスティングサービスである「SAISOS」が寄与したものの、システム開発案件の減少等により、当第3四半期連結累計期間の金融システム事業の売上高は11,524百万円(前年同期比9.6%減)となりました。

利益面においては、「SAISOS」等の情報処理サービスが堅調に推移したものの、システム開発案件の収益性低下等により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は669百万円(同39.8%減)となりました。

#### ②流通サービスシステム事業

売上面においては、新規顧客拡大や新サービス提供が進捗しているものの、大型システム開発案件及び既存顧客向け情報処理サービスが減少したことにより、当第3四半期連結累計期間の流通サービスシステム事業の売上高は3,303百万円(同12.3%減)となりました。

利益面においては、売上が減少したこと、新規顧客及び新サービスの受注拡大に向けた提案活動等に伴うコストの増加等により、当第3四半期連結累計期間は74百万円の営業損失(前年同期は348百万円の営業利益)となりました。

#### ③BPO事業

売上面においては、給与計算受託業務の計算人員数が増加したこと、インターネット給与明細照会サービスである「Bulas Payslip Mobile」が新規顧客獲得により堅調に推移したことから、当第3四半期連結累計期間のBPO事業の売上高は1,160百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

利益面においては、給与計算受託業務に係るシステム開発案件の減少、品質向上活動及び税制改正対応コストの増加等により、当第3四半期連結累計期間は341百万円の営業損失(前年同期は207百万円の営業損失)となりました。

④HULFT事業

売上面においては、通信ミドルウェアのデファクトスタンダードである当社の主力商品「HULFT」等について代理店経由の製品販売が好調に推移したこと、保守契約率向上を推進したことから、当第3四半期連結累計期間のHULFT事業の売上高は4,422百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

利益面においては、利益率の高い製品販売及び保守販売が好調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は2,128百万円（同6.0%増）となりました。

⑤その他

その他には、㈱フェス、世存情報技術（上海）有限公司の連結子会社2社をセグメントとして分類しております。なお、㈱フェスは平成24年10月1日付で当社連結子会社であった㈱HRプロデュースを吸収合併し、同社事業を包括的に承継しております。

㈱フェスにおいては、医療機関向けシステム運営管理受託の増加及びITIL関連事業の展開により、売上・利益ともに堅調に推移しました。

世存情報技術（上海）有限公司においては、パッケージソフトウェアのオフショア開発が増加したことにより、売上・利益ともに堅調に推移しました。また、中国市場向け通信ミドルウェア「海度（ハイドゥ）」の拡販により事業基盤の拡大を図っております。

これら連結子会社における当第3四半期連結累計期間の売上高は2,146百万円（同3.6%増）、営業利益は125百万円（同2.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より3,775百万円減少し、22,731百万円となりました。主な減少要因は、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が同2,720百万円減少したこと、金融システム事業におけるシステム開発案件の完成等により仕掛金が同721百万円減少したこと等によるものであります。また、主な増加要因は、深川センター設備の増強等により工具、器具及び備品が同399百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は同4,171百万円減少し、7,373百万円となりました。主な減少要因は、仕入債務の支払により支払手形及び買掛金が同2,582百万円減少したこと、法人税等の支払により未払法人税等が同684百万円減少したこと等によるものであります。また、主な増加要因は、流動負債のその他に含まれる前受金が同313百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は同395百万円増加し、15,357百万円となりました。主な増加要因は、四半期純利益の計上により同963百万円増加したことによるものであります。また、主な減少要因は、剰余金処分による配当財源への割当てにより利益剰余金が同566百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より11.2ポイント増加し、67.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月25日付「平成24年3月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

従来、当社及び国内連結子会社は、「建物及び構築物」に含まれる建物附属設備及び「工具、器具及び備品」の減価償却方法について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。この変更は、情報サービス業界の「所有から利用へ」の流れの中で、当社におけるこれらの資産の使用方法が変化し、経済的便益がその耐用年数にわたって平均的に費消されるようになったことに対応したものです。なお、この変更により、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は130,606千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ152,272千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,351,339	5,542,158
受取手形及び売掛金	6,983,422	4,263,397
有価証券	649,719	649,907
商品及び製品	359	80,131
仕掛品	1,012,397	290,573
原材料及び貯蔵品	10,518	10,844
繰延税金資産	700,704	695,423
その他	527,919	731,126
貸倒引当金	△1,026	△1,092
流動資産合計	15,235,354	12,262,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,066,521	2,169,664
減価償却累計額	△1,778,977	△1,830,934
建物及び構築物(純額)	287,543	338,730
工具、器具及び備品	3,173,564	3,605,404
減価償却累計額	△2,543,021	△2,574,922
工具、器具及び備品(純額)	630,542	1,030,481
リース資産	2,787,748	3,382,479
減価償却累計額	△663,974	△1,072,929
リース資産(純額)	2,123,773	2,309,549
建設仮勘定	797,981	127,064
有形固定資産合計	3,839,841	3,805,826
無形固定資産		
ソフトウェア	3,104,690	2,971,345
リース資産	563,149	519,178
その他	0	0
無形固定資産合計	3,667,840	3,490,524
投資その他の資産		
投資有価証券	1,340,390	856,922
敷金	885,520	786,827
繰延税金資産	818,732	820,225
その他	723,989	712,966
貸倒引当金	△4,750	△4,750
投資その他の資産合計	3,763,882	3,172,192
固定資産合計	11,271,565	10,468,543
資産合計	26,506,919	22,731,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,682,608	1,100,043
リース債務	408,506	440,870
未払法人税等	721,550	36,779
賞与引当金	756,889	418,409
データセンター移設損失引当金	289,692	16,121
その他	3,008,690	3,023,474
流動負債合計	8,867,937	5,035,698
固定負債		
リース債務	1,460,528	1,246,560
退職給付引当金	1,019,159	884,852
長期未払金	115,500	76,030
資産除去債務	82,265	130,669
固定負債合計	2,677,453	2,338,112
負債合計	11,545,391	7,373,811
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,367,687	1,367,687
資本剰余金	1,462,360	1,462,360
利益剰余金	12,100,080	12,497,014
自己株式	△217	△217
株主資本合計	14,929,910	15,326,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,595	31,600
為替換算調整勘定	△2,977	△1,242
その他の包括利益累計額合計	31,617	30,358
純資産合計	14,961,528	15,357,203
負債純資産合計	26,506,919	22,731,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	22,589,810	21,448,036
売上原価	17,343,302	17,162,347
売上総利益	5,246,508	4,285,689
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	601	96
役員報酬	194,254	188,076
従業員給料及び賞与	1,003,307	1,025,714
賞与引当金繰入額	123,639	98,183
退職給付費用	48,892	63,179
福利厚生費	213,790	217,893
減価償却費	105,120	163,095
その他	845,082	969,621
販売費及び一般管理費合計	2,534,689	2,725,860
営業利益	2,711,818	1,559,828
営業外収益		
受取利息	3,254	2,298
有価証券利息	10,539	13,993
受取配当金	11,460	9,049
複合金融商品評価益	—	5,729
持分法による投資利益	29,848	—
その他	11,603	10,823
営業外収益合計	66,707	41,894
営業外費用		
支払利息	22,915	21,643
複合金融商品評価損	17,869	—
為替差損	1,185	489
その他	158	62
営業外費用合計	42,128	22,195
経常利益	2,736,397	1,579,527
特別利益		
投資有価証券売却益	—	24,336
関係会社株式売却益	6,589	—
特別利益合計	6,589	24,336
特別損失		
固定資産処分損	4,558	3,112
データセンター移設損失引当金繰入額	83,932	—
減損損失	103,340	—
投資有価証券売却損	2,831	2,898
持分変動損失	2,202	—
特別損失合計	196,865	6,010
税金等調整前四半期純利益	2,546,120	1,597,853
法人税等	1,138,412	633,926
少数株主損益調整前四半期純利益	1,407,708	963,926
四半期純利益	1,407,708	963,926

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,407,708	963,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,619	△2,994
為替換算調整勘定	△298	1,735
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,392	—
その他の包括利益合計	△7,310	△1,259
四半期包括利益	1,400,397	962,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,400,397	962,667
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	金融 システム 事業	流通 サービス システム 事業	BPO 事業	HULFT 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,745,353	3,768,519	1,069,272	4,067,724	21,650,870	938,939	22,589,810	—	22,589,810
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	1,472	15,590	17,063	1,132,395	1,149,458	△1,149,458	—
計	12,745,353	3,768,519	1,070,744	4,083,315	21,667,933	2,071,335	23,739,269	△1,149,458	22,589,810
セグメント利益 又は損失(△)	1,111,811	348,918	△207,401	2,007,753	3,261,082	122,448	3,383,530	△671,711	2,711,818

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社が行っているシステム運営管理受託・人材派遣等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△671,711千円には、セグメント間取引消去△11,598千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△660,113千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、データセンター増強に伴う並行稼働コストであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	金融 システム 事業	流通 サービス システム 事業	BPO 事業	HULFT 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	11,524,256	3,303,981	1,157,951	4,402,881	20,389,072	1,058,964	21,448,036	—	21,448,036
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	2,456	19,930	22,386	1,087,443	1,109,829	△1,109,829	—
計	11,524,256	3,303,981	1,160,407	4,422,812	20,411,458	2,146,407	22,557,865	△1,109,829	21,448,036
セグメント利益 又は損失(△)	669,417	△74,901	△341,281	2,128,243	2,381,478	125,278	2,506,756	△946,927	1,559,828

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社が行っているシステム運営管理受託・人材派遣・パッケージの販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△946,927千円には、セグメント間取引4,390千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△951,318千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、データセンター増強に伴う並行稼働コストであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、従来、定率法を採用していた有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更しております。この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の金融システム事業のセグメント利益が52,522千円増加、流通サービスシステム事業のセグメント損失が21,887千円減少、BPO事業のセグメント損失が15,303千円減少、HULFT事業のセグメント利益が30,589千円増加、その他のセグメント利益が165千円増加しております。また、「調整額」に含まれる各報告セグメントに配分していない全社費用が31,804千円減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。